

## 保険ERM態勢高度化支援サービス

### 保険ERM態勢高度化の要請

保険会社の直面するリスクに関して、規制や経営環境が刻一刻と変化しています。この変化に対応した統合的リスク管理（Enterprise Risk Management: ERM）の見直しと強化がより一層必要になってきています。

デロイト トーマツ グループでは、保険ERM態勢に関し、基礎的な情報提供から、各社固有の問題解決まで幅広く関わります。また、グローバルネットワークを駆使し、最新の情報と豊富なアドバイザーサービスを提供します。

### 【サービス内容】

#### ■ ERM高度化関連情報サービス

定期的に国際規制情報、主要国の当局情報、ERM（含むコンダクトリスク）関連情報を整理・分析し報告します。これらの素材を踏まえ、今後の環境変化やERM高度化の必要事項等について意見交換します。また情報を自前に集めようとする、一定の人員を必要とするため、デロイト トーマツ グループが、タイムリーに整理して提供することで、ERM高度化に関する検討事項等の抽出や対応も可能です。

#### ■ 内部モデルの構築支援

事業の健全性を維持しつつ戦略的な資本配賦を目指すためには、各種リスクを統合して全体のリスクを評価する統合リスク管理が有効です。会社全体のリスク評価を経済価値ベースの負債評価に基づき行うための態勢整備と高度化支援とともに、内部モデルの構築に関しても、他の分野の専門家やデロイト トーマツ グループおよび各国のメンバーファームと連携して支援します。

#### ■ ITガバナンスの構築、アナリティクス活用に基づく支援

経営環境の変化に柔軟に対応し、ERMを強化するためには、基盤としてのITガバナンスの確立やアナリティクスの活用が必要となります。また、最近のサイバーリスクの高まりや規制当局の動態的モニタリングを踏まえると、保険会社には自立的でフォワードルッキングな対応が求められています。

デロイト トーマツ グループは、ITガバナンスやアナリティクスの専門家を多く有し、金融・保険分野に対する豊富な支援実績を有しています。

#### ■ 内部モデルの検証や定性的アプローチ強化の支援

リスク計測モデルによる計測値は、資本配賦、リスク・リターン管理など、保険会社経営のさまざまな分野で利用されており、経営上、重要な地位を占めるようになってきました。モデルは、現実社会を数学的に表現したものであり、モデルには前提や仮定が置かれています。そのような前提や仮定を十分理解し、リスクポートフォリオを適切に反映させていることを検証する必要があります。このため、リスク計測モデルの文書化、モデルの妥当性・有効性の検証、データ品質の確保等、リスク管理部署の態勢強化の支援や内部監査への各種支援を行います。またモデル化できないリスクに対するストレステストやエマージングリスクモニタリング等の定性的アプローチの高度化支援も行います。

### 保険ERM態勢高度化支援サービスの内容



#### （参考）内部モデル検証における内部監査支援の例示

保険検査マニュアルの要件に加え、国内外の保険会社、銀行における内部モデルのプラクティスをベースに、リスク計測モデルの妥当性・有効性検証を行います。通常、検証は以下のステップで行います。

- モデル面についてのロジック調査
- システム面についての数値調査
- 運用面についての調査

